

平成 27 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年 報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（平成 27 年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 平成 27 年度の報告

1. 予算及び決算	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	11
(2) 保存・活用目的の調査	12
(3) 記録保存調査	12
(4) 工事立会	12
(5) 市町村支援	13
(6) 資料整理・報告書作成	14
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	15
(2) 団体見学一覧	16
(3) 活動実績	17
4. 資料の貸出・利用	20
5. 研修・職員派遣	20

I 概 要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

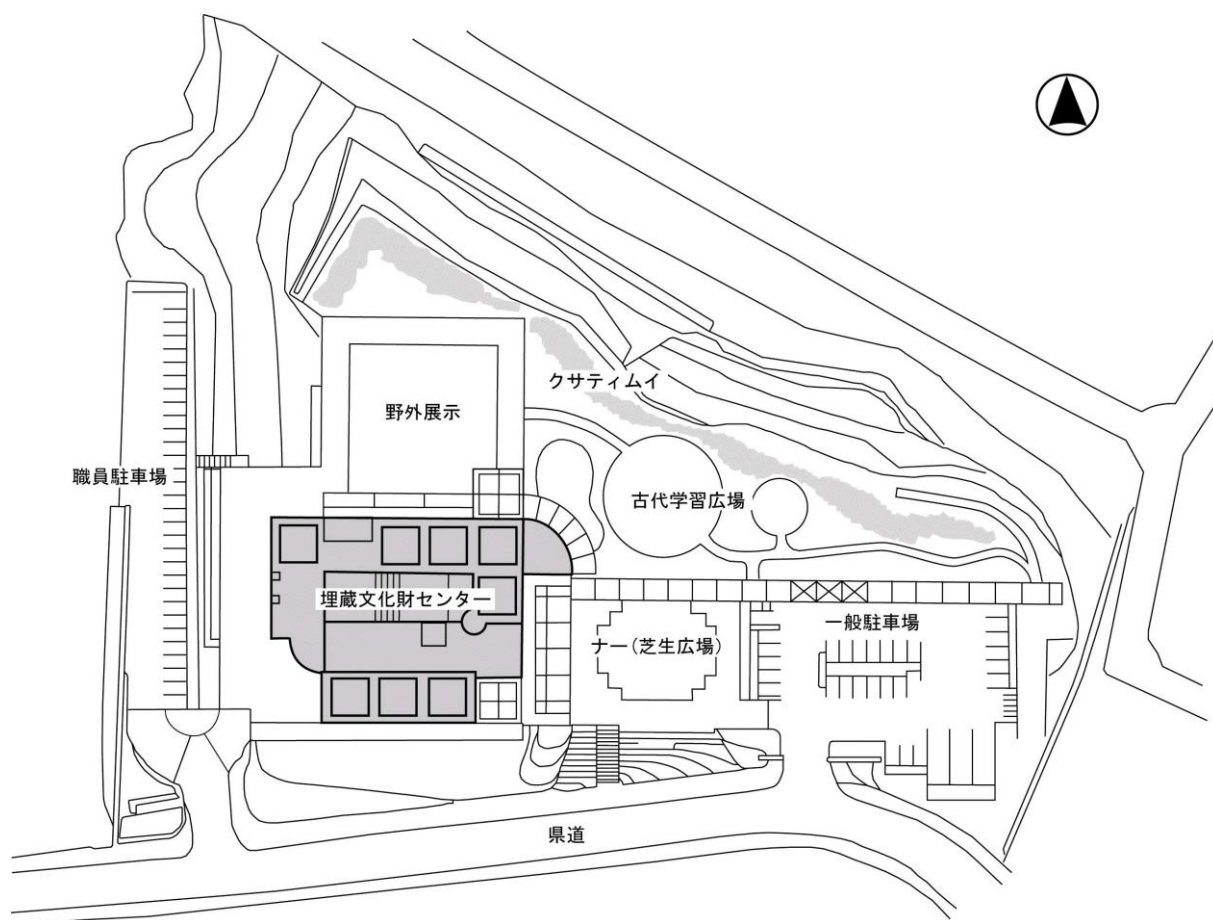
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

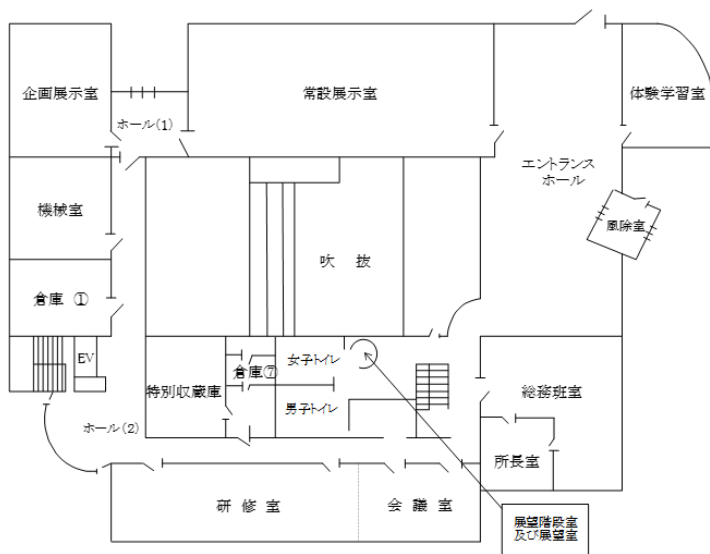
平成 5 年 3 月	沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。
平成 6 年10 月	沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。
平成 7 年 3 月	沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了
平成 7 年11 月	沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了
平成 10 年10 月	沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工
平成 11 年10 月	沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工
平成 11 年12 月	平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。
平成 12 年 3 月	定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。
平成 12 年 3 月	沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了
平成 12 年 4 月	沖縄県立埋蔵文化財センター開所
平成 13 年 3 月	企画展示室除湿工事完了
平成 14 年 3 月	収蔵庫空調設備工事完了

3. 施設の概要

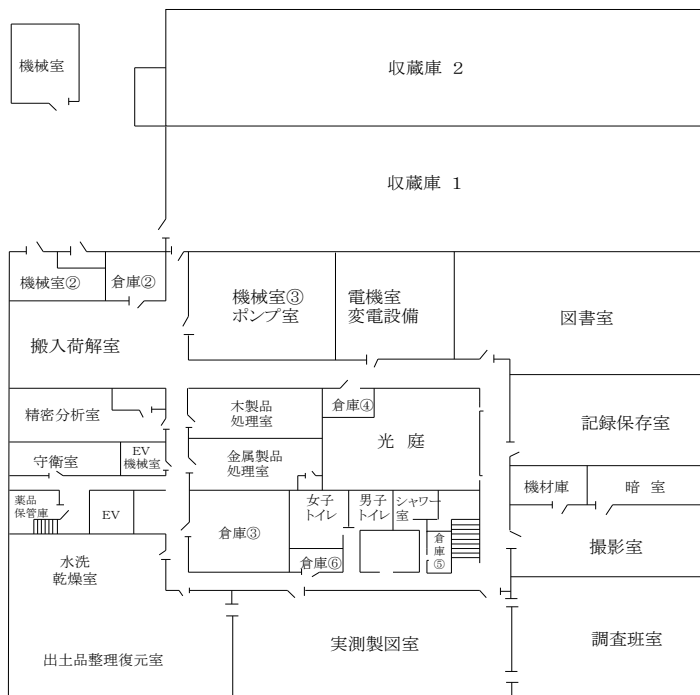
地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造
規 模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²



埋蔵文化財センター配置図



2階平面図



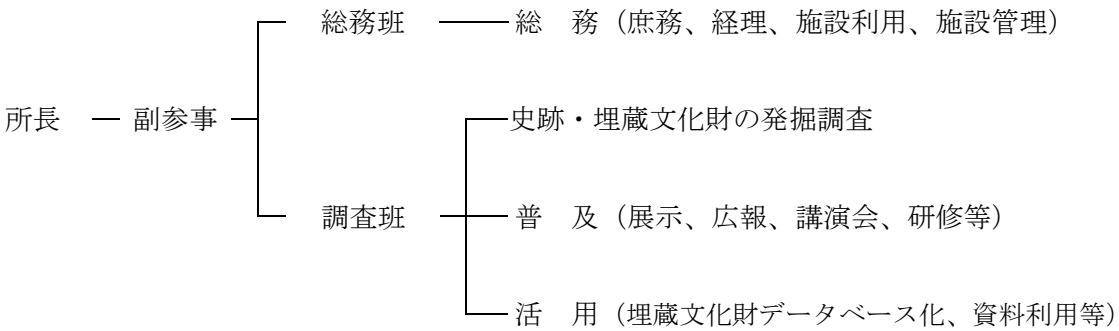
1階平面図

建物室別面積

区分	室 名	面積 (㎡)
展 望 室	展望室	14.33
	展望階段室	14.33
	小 計	28.66
2 階	エントランスホール	161.24
	体験学習室	64.80
	常設展示室	170.84
	企画展示室	87.80
	研修室	170.58
	会議室	86.39
	特別収蔵庫	69.70
	総務班室	45.96
	応接室	20.63
	所長室	20.59
	給湯室・トイレ等	398.02
	小 計	1296.55
1 階	収蔵庫	1319.76
	搬入荷解室	52.04
	木製品処理室	33.89
	金属製品処理室	35.01
	精密分析室	40.32
	水洗乾燥室	57.01
	出土品整理復元室	124.71
	実測製図室	206.84
	調査班室	101.10
	撮影室	66.99
	記録保存室	85.19
	図書室	118.21
	機械室	109.82
	給湯室・トイレ等	480.73
	小 計	2831.62
屋 外 機 械 室		23.05
合 計 (㎡)		4179.88

4. 組織と職員一覧（平成27年度）

【組織】



【職員一覧】

所長 下地英輝
副参事 盛本勲

総務班	
職名	氏名
総務班長	新垣勝弘
主査	新里靖
主査	平良広海
主査	比嘉睦
主事	當山彬

調査班	
職名	氏名
調査班長	上地博
指導主事	神村智子
主任専門員	仲座久宜
主任専門員	山本正昭
主任専門員	羽方誠
主任専門員	瀬戸哲也
主任	新垣力
主任	大堀皓平
主任	金城貴子
専門員	具志堅清大
専門員	亀島慎吾
専門員	宮城淳一
専門員（臨任）	新垣有一郎
専門員（臨任）	又吉幸嗣

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で区分すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分について、やむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に当センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

資料整理の流れ

STEP 1 洗 浄	出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけもとの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいなぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

6. 資料の貸出・利用

当センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

当センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84 m²）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を再現した「琉球御膳」の展示ケースを設置し、さらに2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。

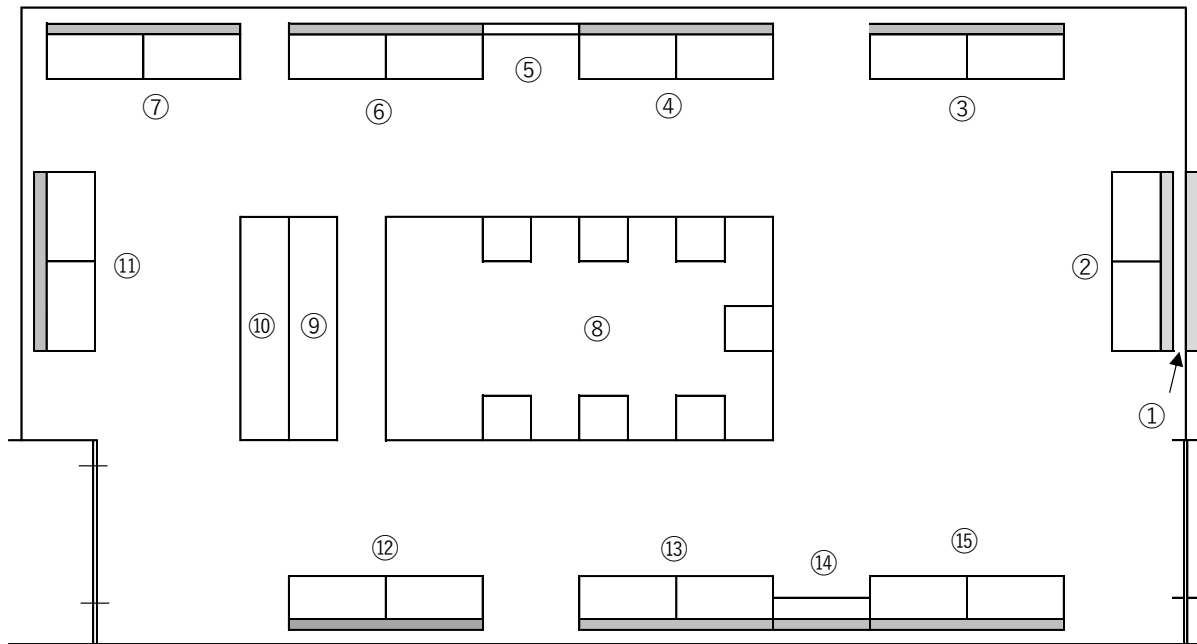


図 1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑤ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑥ 住まいと道具－ 1
- ⑦ 貝の道
- ⑧ 再現された「2000 年前の琉球のムラ」（ジオラマ）
- ⑨ 再現した「琉球御膳」
- ⑩ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑪ グスクの移り変わり
- ⑫ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑬ 沖縄の古窯
- ⑭ 沖縄県の戦争遺跡
- ⑮ 先史時代の宮古・八重山諸島

②体験学習室（64.80 m²）

体験学習室（図2）では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

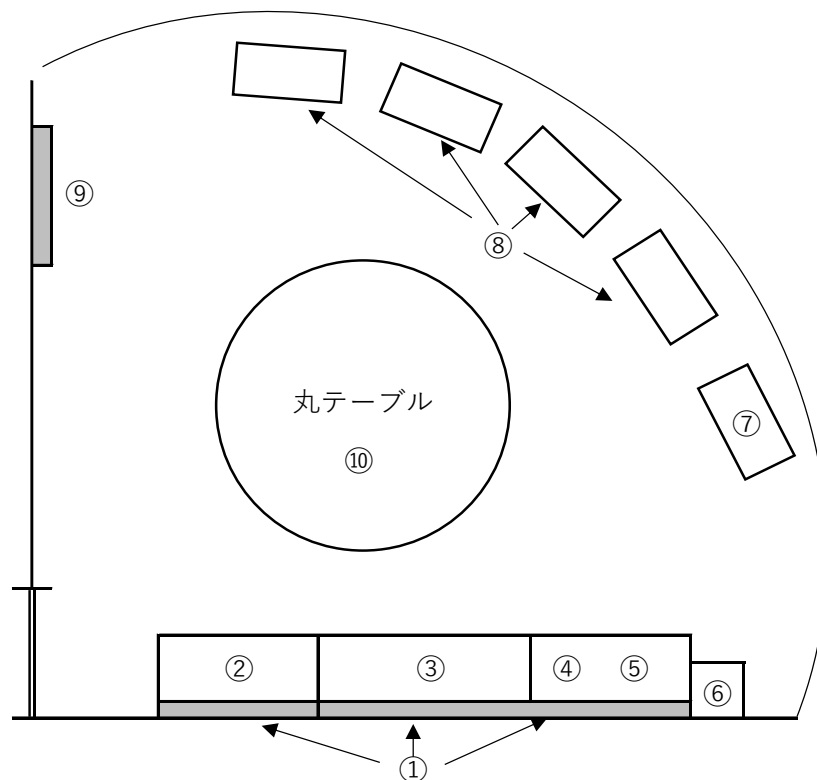


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」
「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑥ 発掘調査で使う道具 |
| ② 実測機 | ⑦ 型式学 |
| ③ 接合・復元 | ⑧ 接合にチャレンジ（パズル） |
| ④ ナンバーリング | ⑨ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ⑤ 洗い作業 | ⑩ 縄文時代の主な土器 |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して温湿度を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

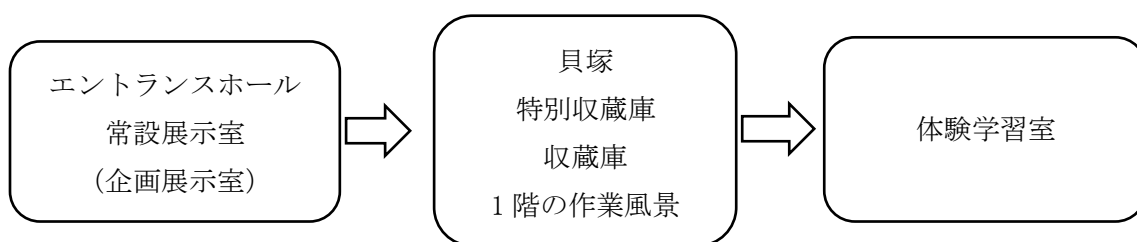
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

当センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

（2）団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの資料整理業務の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・団体見学を希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施している。

Ⅱ 平成 27 年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分		事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額
国庫補助事業	(文化庁計上分)	(1)京の内跡出土陶磁器保存修理	4,913,000		4,913,000	4,913,000	
		(2)基地内文化財分布調査	129,200,000	▲ 38,208,060	90,991,940	88,428,058	
		(3)県内出土遺物保存処理	1,237,000	▲ 42,660	1,194,340	1,194,340	
		(4)県内遺跡詳細分布調査	2,703,000	2,255,720	4,958,720	3,681,842	
		(5)白保竿根田原洞穴遺跡確認調査	18,000,000	▲ 1,355,360	16,644,640	14,804,207	
		(6)県内埋蔵文化財総合活用	4,792,000		4,792,000	5,844,260	
		国庫補助事業計	160,845,000	▲ 37,350,360	123,494,640	118,865,707	0
受託事業	(受託元) 沖縄総合事務局	(1)首里城跡発掘調査	39,970,000	▲ 279,690	39,690,310	37,682,890	
	(受託元) 沖縄防衛局	(2)海軍病院発掘調査	30,924,000	▲ 260,310	30,663,690	28,616,420	0
	(受託元) 国土交通省 大阪航空局	(3)大嶺村跡発掘調査	0	35,226,000	35,226,000	28,947,868	
		受託事業計	70,894,000	34,686,000	105,580,000	95,247,178	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査（現年）	43,354,000	▲ 1,614,280	41,739,720	41,739,720	
		分任事業計	43,354,000	▲ 1,614,280	41,739,720	41,739,720	0
県単事業	学校建設費	首里高校内埋蔵文化財発掘調査	28,533,000	39,150,480	67,683,480	62,248,798	
	人材育成推進費	東村跡発掘調査	10,300,000	▲ 142,000	10,158,000	9,146,063	0
	文化施設事業費	埋蔵文化財センター事業費	17,680,000	34,000	17,714,000	17,287,589	0
		県単事業計	56,513,000	39,042,480	95,555,480	88,682,450	0
総 合 計			331,606,000	34,763,840	366,369,840	344,535,055	0

(2) 財源内訳

単位：円

事業区分	合 計	国 庫	特定財源	県 債	一 般
当初予算額	331,606,000	134,963,000	70,894,000	0	125,749,000
補正額等	34,763,840 ▲	30,114,000	34,686,000	0	30,191,840
最終予算	366,369,840	104,847,000	105,580,000	0	150,661,480
決算額	344,535,055	80,727,000	95,247,178	0	171,087,177
繰越額	0	0	0	0	0

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	普天間石川原第二遺跡 普天間旧道跡 安仁屋東原古墓群 (基地内埋蔵文化財 分布調査)	宜野湾市普天間・安仁屋・新城(西普天間住宅地区)	羽方 誠、 新垣 力、 大堀皓平、 宮城淳一、 又吉幸嗣	埋蔵文化財 の範囲確認	平成27年 6月29日 ～平成28 年1月29 日	2375 m ² 試:1568 m ² 確:807 m ²	縄文・グスク・近世・ 近代/集落、 旧道 近代/古墓

(2) 保存・活用目的の調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	宮城淳一	遺跡の保存整備に伴う範囲確認調査	平成 27 年 6 月 30 日～9 月 10 日	20 m ²	縄文～弥生・平安並行時代/集落跡
2	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	重要遺跡確認調査	平成 27 年 6 月 1～30 日	4 m ²	旧石器、下田原期、グスク時代/洞穴遺跡
3	中城御殿跡 (県立博物館跡地)	那覇市	山本正昭	首里城公園整備に伴う遺構確認調査	平成 27 年 6 月 1 日～12 月 18 日	300 m ²	近世、その他(近現代)/城館跡

(3) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	中城御殿跡 (県立博物館跡地)	那覇市首里	羽方 誠	首里城公園整備に伴う発掘調査	平成 27 年 8 月 27 日～10 月 9 日	34 m ²	グスク・近世・近現代/城館跡
2	大嶺村跡	那覇市大嶺	大堀皓平	那覇空港事務所管制塔庁舎新築工事及び MRO 整備に伴う埋設管設置工事	平成 28 年 3 月 1 日～7 月 20 日	約 2,500 m ²	弥生～平安並行・グスク・近世・近代/集落跡

(4) 工事立会

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の契機	調査期間	調査面積	時代/種類
1	(なし)						

(5) 市町村支援

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	トリエ通信施設内埋蔵文化財試掘調査	読谷村	瀬戸哲也、 金城貴子、 又吉幸嗣	埋蔵文化財 の有無確認	平成27年 4 月22日～平 成27年 6 月 2 日	56か所	縄文・グス ク時代・近 世・近代/不 明

(6) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・ 報告書名等	所在地	担当者	分析指導・ 協力等	経費負担	調査 年度	刊行年月
1	首里城跡銭蔵東地区（第80集）	那覇市	瀬戸哲也	西野望（矢掛町教育委員会）、黒住耐二（千葉県立中央博物館）、樋泉岳二（早稲田大学）、高宮広土（鹿児島大学国際島嶼教育センター）、千田寛之（文化財サービス）	内閣府沖縄総合事務局（国営沖縄記念公園事務所）	平成23～25	平成28年2月
2	慶良間諸島の遺跡（第81集）	渡嘉敷村・座間味村	瀬戸哲也、 宮城淳一、 大堀皓平、 亀島慎吾	山崎真治（沖縄県立博物館・美術館）、黒住耐二（千葉県立中央博物館）、國木田大（東京大学大学院）、バリノ・サーヴェイ株式会社	文化庁 県	平成22～27	平成28年3月
3	首里城跡正殿地区（第82集）	那覇市	新垣力、 知念隆博、 山本正昭、 大堀皓平、 亀島慎吾	上原静（沖縄国際大学）、當眞嗣一（グスク研究所）	内閣府沖縄総合事務局（国営沖縄記念公園事務所）	昭和60・61	平成28年3月
4	キャンブ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書3（第83集）	宜野湾市	知念隆博、 金城貴子	—	沖縄防衛局	平成22・23	平成28年3月
5	中城御殿跡 県営首里城公園 中城御殿跡発掘調査（5）（第84集）	那覇市	羽方誠	—	県土木建築部 （都市計画・ モノレール 課）	平成24	平成28年3月
6	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	調査指導委員会：稲田孝司（岡山大学名誉教授）、安里嗣淳、吉村和久（九州大学名誉教授）、土肥直美（琉球大学医学部）、神谷厚昭、佐藤宏之（東京大学）、石原与四郎（福岡大学） 資料整理指導：米田穰（東京大学総合研究博物館）、波木基真（うるま市教育委員会）	文化庁 県	平成24～27	平成28年度刊行予定
7	首里城跡 御内原東地区	那覇市	新垣力、 瀬戸哲也	—	内閣府沖縄総合事務局（国営沖縄記念公園事務所）	平成23・24	平成28年度刊行予定
8	普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡	宜野湾市	知念隆博、 金城貴子、 具志堅清大	—	沖縄防衛局	平成24・25	平成28年度刊行予定
9	中城御殿跡（首里高校内）	那覇市	亀島慎吾	大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問）、矢島律子（町田市立博物館）	県	平成25・26	平成28年度刊行予定
10	東村跡	那覇市	金城貴子、 具志堅清大	—	教育庁教育支援課	平成26	平成28年度刊行予定
11	中城御殿跡	那覇市	山本正昭	久保智康（叡山学院）、石井龍太（城西大学）	県土木建築部 （都市計画・ モノレール 課）	平成19～21	平成29年度刊行予定
12	喜友名東原第四遺跡・喜友名前原第三遺跡	宜野湾市	羽方誠、 宮城淳一	—	文化庁 県	平成25・26	平成30年度刊行予定

※分析指導・協力等は平成27年度の実績

3. 普及・活用

平成 27 年度は、4,391 人の方々に当センターをご利用いただいた。企画展や文化講座、夏休み体験学習といったイベントの開催、団体見学や職場体験、出前講座の実施等の普及活動を通して、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財について学習できる機会を提供した。

企画展に関しては、7 月に「発掘調査速報 2015」展、9 月に県庁/県民ホールと当センターにて「パネル展 東日本大震災の復興支援」展、10 月に「ふたつの中城御殿跡」展、平成 28 年 1 月に離島児童生徒支援センターにて「特別展示 東村出土品・パネル」展、2 月には「首里城京の内跡出土品展 発見！首里城の食といのり」展を実施した。

夏休み体験学習は 8 月に「夏休み体験学習 先史人の技～貝のアクセサリ作り～」を実施し、88 名の保護者・児童が参加した。

団体見学は 27 団体、1,215 人を受け入れ、職場体験は 20 校、58 名の生徒を受け入れた。

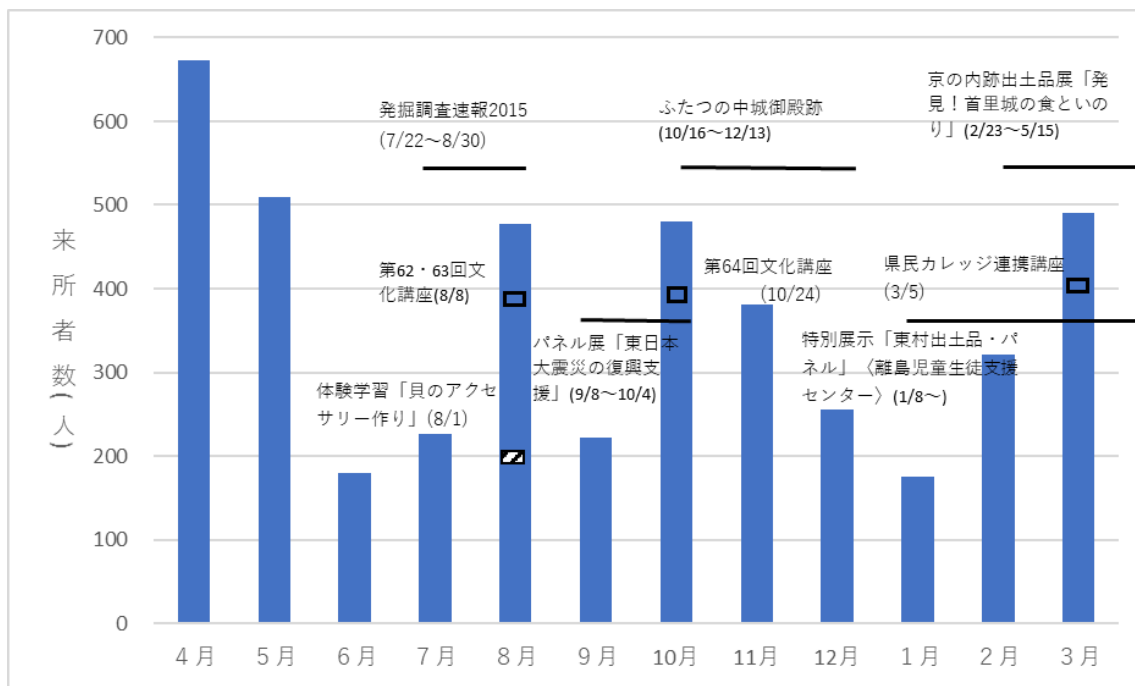
(1) 平成 27 年度入所者一覧

単位：人

月	見学						施設利用 ※	総計
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4 月	6	510	1	0	25	542	30	572
5 月	6	323	2	1	48	380	30	410
6 月	2	14	15	2	38	71	30	101
7 月	2	13	16	9	9	49	30	79
8 月	14	37	2	4	20	77	222	299
9 月	4	4	11	27	10	56	100	156
10 月	5	90	1	24	21	141	93	234
11 月	5	13	6	43	79	146	39	185
12 月	2	8	13	2	81	106	0	106
1 月	10	18	21	0	13	62	43	105
2 月	3	5	0	2	22	32	115	147
3 月	23	15	9	95	13	155	90	245
合計	82	1,050	97	209	379	1,817	822	2,639

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数

平成 27 年度来所者一覧



(2) 団体見学一覧

No	見学月日	曜日	団体名	参加者数 (人)
1	4月14日	火	坂田小学校	151
2	4月15日	水	西原東小学校	71
3	4月16日	木	与儀小学校	68
4	4月21日	火	普天間第二小学校	114
5	4月21日	火	西原南小学校	65
6	4月22日	水	琉大/留学生センター	16
7	4月26日	日	垣花小学校	31
8	4月30日	木	北谷第二小学校	92
9	4月30日	木	長田小学校	88
10	5月7日	木	北中城小学校	134
11	5月14日	木	琉大/留学生センター	18
12	5月27日	水	琉大/留学生センター	20
13	6月16日	火	沖縄国際大学	30
14	7月27日	月	那覇市教育委員会	8
15	8月19日	水	にじいろ学童	23
16	10月14日	水	阿波連小学校	9
17	10月15日	木	中城南小学校	57
18	10月21日	水	デイサービス安謝①	14
19	10月22日	木	デイサービス安謝②	14
20	11月17日	火	糸満西崎デイサービス	25
21	12月9日	水	琉大/地理人類学専攻	33
22	12月9日	水	モアクリニック	28
23	1月26日	火	はごろも学習センター	11
24	2月8日	月	県立芸大工芸専攻	10
25	3月9日	水	糸満市西川町向上会	24
26	3月14日	月	中部商業高校	27
27	3月16日	水	中部商業高校	34
合 計				1215

(3) 活動実績

①企画展

No	名 称	期 間	観覧者数 (人)
1	発掘調査速報2015	平成27年7月22日～8月30日	562
2	パネル展「東日本大震災の復興支援」	平成27年8月31日～9月9日〈県庁・県民ホール〉 平成27年9月8日～10月4日〈埋蔵文化財センター〉	※210
3	ふたつの中城御殿跡	平成27年10月16日～12月13日	992
4	特別展示「東村出土品・パネル」	平成28年1月8日～	—
5	首里城京の内跡出土品展「発見！首里城の食 といのり」	平成28年2月23日～5月15日	643
合 計			2,407

※県庁・県民ホールでは実施できなかったため、含まない

③文化講座

回	名 称	開催日	講 師	参加者数 (人)
第62回 第63回	発掘調査速報2015	平成27年8月8日	仲座久宜、宮城淳一、大堀 皓平、瀬戸哲也、金城貴 子、亀島慎吾、新垣有一 郎、新垣 力	88
第64回	ふたつの中城御殿跡 文化講座&ギャラリートーク	平成27年10月24日	山本正昭、亀島慎吾	63
—	県民カレッジ「美ら島沖縄学」連携講座 ※京の内ギャラリートーク	平成27年3月5日	—	20
合 計				171

④体験学習

名 称	開催日	参加者数 (人)
夏休み体験学習～先史人の技～貝のアクセサリー作り	平成27年8月1日	88
合 計		88

⑤現地説明会

No	名 称	開催日	参加者数 (人)
1	中城御殿跡（首里高校）※首里高校職員対象	平成27年4月28日	23
合 計			23

⑥職場体験

No	学校名	期間	参加者数 (人)
1	南城市立佐敷小学校	平成27年 6 月18日 (木)	3
2	浦添市立浦城小学校	平成27年 8 月 6 日 (木)	2
3	那覇市立松島小学校	平成27年 8 月14日 (金)	3
4	宜野湾市立宜野湾中学校	平成27年 6 月16日 (火) ～ 6 月18日 (木)	3
5	西原町立西原中学校	平成27年 6 月30日 (火) ～ 7 月 2 日 (木)	3
6	西原町立西原東中学校	平成27年 6 月30日 (火) ～ 7 月 2 日 (木)	3
7	南城市立佐敷中学校	平成27年 9 月 1 日 (火) ～ 9 月 3 日 (木)	3
8	浦添市立浦添中学校	平成27年12月15日 (火) ～12月17日 (木)	4
9	那覇市立首里中学校	平成28年 1 月27日 (水) ～ 1 月29日 (金)	3
10	西原高等学校	平成27年 7 月 7 日 (火) ～ 7 月 9 日 (木)	2
11	浦添工業高等学校	平成27年 9 月16日 (水) ～ 9 月18日 (金)	5
12	開邦高等学校	平成27年 9 月28日 (月) ～ 9 月30日 (水)	3
13	那覇工業高等学校	平成27年 9 月30日 (水) ～10月 2 日 (木)	3
14	浦添商業高等学校	平成27年10月14日 (水) ～10月16日 (金)	2
15	中部商業高等学校	平成27年10月27日 (火) ～10月29日 (木)	2
16	北中城高等学校	平成27年11月10日 (火) ～11月12日 (木)	2
17	陽明高等学校	平成27年11月10日 (火) ～11月12日 (木)	3
18	浦添高等学校	平成27年11月11日 (水) ～11月13日 (金)	3
19	首里東高等学校	平成27年11月17日 (火) ～11月19日 (木)	3
20	知念高等学校	平成27年11月18日 (水) ～11月20日 (金)	3
合 計			58

⑦出前講座

No	学校名	開催日	参加者数 (人)
1	読谷高等学校	平成27年 4 月23日 (木)	22
2	宜野湾市立大山小学校	平成27年 5 月19日 (火)	84
3	読谷高等学校	平成27年 6 月11日 (木)	23
4	宜野湾市民図書館	平成27年 8 月 6 日 (木) ・ 7 日 (金)	53
5	糸満中学校	平成27年11月 4 日 (水)	146
6	石嶺小学校	平成27年11月17日 (火)	28
7	宮古高等学校	平成27年12月21日 (月) ・ 22日 (火)	118
8	大浜中学校	平成28年 3 月17日 (木)	33



京の内跡出土品展「発見！首里城の食といのり」



発掘調査速報 2015



第 62・63 回文化講座



第 64 回文化講座



体験学習

4. 資料の貸出・利用

(1) 平成27年度申請分

機関 期間	沖縄県立 博物館・美術館	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館	国立博物館	海外博物館	その他 研究機関等	計
通年		3		1			4
短期	3	2	1			3	9
合計	3	5	1	1		3	13

※（ ）の数は重要文化財の貸出件数

(2) 資料の利用件数

機関 目的	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国内の大学、 研究者等	海外の研究者等	報道機関	その他 出版社等	小計
遺物閲覧	4		24	3		1	32
図・写真 の利用（掲載等）	11	3	2		17	10	43
合計	15	3	26	3	17	11	75

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

No.	名称	期間	参加者
1	甲種防火管理者資格取得講習会	平成27年7月9・10日	上地博、神村智子
2	平成27年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会	平成27年8月26・27日	神村智子、金城貴子
3	地山掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	平成27年9月15～17日	瀬戸哲也、山本正昭
4	平成27年度埋蔵文化財保護行政基礎講座	平成27年10月13～15日	宮城淳一、亀島慎吾
5	平成27年度全国公立埋蔵文化財センター第28回研修会	平成27年11月26・27日	羽方誠、山本正昭

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期間	派遣職員
1	平成27年度東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財調査のための職員派遣	岩手県教育委員会	平成27年4月1日～平成28年3月31日	具志堅清大
2	トリイ通信施設における埋蔵文化財試掘調査の立会い	読谷村教育委員会	平成27年4月22日～6月2日	瀬戸哲也、金城貴子、又吉幸嗣



徽 章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

平成 27 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター 年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
